

広域シルバー まつもと

第112号

令和3年7月15日号

(公社)松本地域シルバー人材センター

会報編集委員会

松本市宮渕本村1番10号

TEL.39-6680 FAX.39-7788

URL:<http://www.matumoto-sjc.jp/>

E-mail:matumoto@sjc.ne.jp



信州大学で新型コロナ対策として消毒作業に携わる会員



学生さんたちが安心して大学生を送れるよう毎日頑張っています

令和3年度定時総会開催 新理事・監事を承認

コロナ禍で実績悪化
イベントの中止あいつづ

5月28日（金）

松本市音楽文化ホールにおいて令和3年度定時総会が開催され、定款の改正や実績報告・決算、新役員の選任等の議案は全て承認されました。

未曾有のコロナ禍の影響を受けた令和2年度は、事業実績が前年を下回るとともに、シルバーまつり等の催しが中止となる等、会員相互の交流や地域での活動が停滞する事態となりました。

そのため、令和3年度は、ますます期待が高まる高齢者の働く環境づくりに努め、会員増と就業機会拡大に積極的に取り組んでいくこととなりました。

令和2年度 事業実績

（令和3年3月末現在）

1. 会員登録数

会員数 1,612 人

前年度比 ▲1.9% (▲32 人)

2. 就業実績

◆契約金額 7億 9,136 万円

前年度比 ▲4.2% (▲3,493 万円)

◆契約件数 5,017 件

前年度比 ▲3.6%

◆就業延人員 165,199 人日

前年度比 ▲5.2% (▲9,041 人日)



定時総会の様子

コロナ禍の今
地域貢献の理念を

新型コロナウイルス感染が拡大する中、昨年度は公共施設休業等が影響し、当センターの事業実績は約7億9千万円、前年比4・2%減となりました。

今後ワクチン接種が進んでも、影響は続く可能性もあります。

しかし、長期的には国の進める生涯現役社会構築のため、シルバー人材センターの役割は益々重要になります。

企業等の継続雇用の拡大など、社会状況は、シルバーを取り巻く環境も含め大きく変化しています。



青木理事長あいさつ

すが、会員の皆様にはもうしばらくの間、感染拡大にご注意いただくとともに、シルバー設立の原点でもある「地域への貢献」の理念を再確認していただきたいと思います。当センターの事業発展のため令和3年度も会員各位のご尽力をお願い申し上げます。

新役員体制

< 理事 18人 >

理事長 青木 敏和

副理事長 村山 康文

専務理事・事務局長 矢久保 学

逢澤 京子

市川 豊春

市原 富美敏

齋藤 篤

櫻井 貞文

竹内 保子

古畑 隆雄

多田 井健治（新任）

成澤 泉（新任）

東山 厚生（新任）

矢田 順二（新任）

渡辺 孝（新任）

平林 恭子（松本市健康福祉部）

赤羽 勝（松本商工会議所）

平沢 昭久（JA松本ハイランド）

< 監事 2人 >

横谷 順三郎

宮坂 啓子（新任）



遠藤 章司さん
(庄内)

会員ひとり一会員募集活動功
労表彰をいただきありがとうございます

会員業績功労表彰

堀川 友清
清井 哲雄
山崎 横内
徳江 秀夫



表彰おめでとう
ございます

定時総会の席上、就業実績の他、奉仕活動、
地区懇談会にも積極的に参加されるなど、会員
としてセンター事業の発展に寄与し、その業績
が顕著な方34名と、新規会員を二人以上紹介
いただき、会員増の取り組みに功績のあった方
4名の方々が表彰されました

会員ひとり一会員
募集活動功労表彰

遠藤 章司
順一
伴 武井
小林 益人
勝美

荒井 明
市川 豊春
柳澤 明寛
田中 一吉
野村 高義
横谷 順三郎
臼井 今朝幸
米山 多重
小林 益人
内沢 久雄
大垣 京子
井口 仁子
古畑 隆雄
百瀬 慶治
寺西 正樹
岡村 正和
小櫻 治美
下島 勉
腰原 由美
小木曾 やよい
内條 盛夫
新谷 祐治
洞澤 昭雄
清水 一宏
山崎 繁門
藤崎 紀美子
上野 昭子
太田 光夫
王 鷲 武
村松 宣秀

ございました。

剪定班として活動し、先輩方の
築いたお客様を大切にし、お会い
して話をするのが仕事をすると
しみとなっています。

その中で、昨年は特に人員が不足
し、皆で勧誘の声をかけました。

仕事先でも、該当しそうな方に
は一言「シルバーで働きませんか」



米山多重さん



遠藤章司さん

と声掛けをしています。

そんな取り組みが今回の表
彰につながったかなと思って
おります。

これからも健康に留意して頑
張ってまいりたいと思います。

最後に、シルバー人材セン
ターの益々の発展をお祈り申
上げます。

よろしく
お願いします



総務委員長
市原富美敏

不慣れでありますすが宜しくお願い
申し上げます。さて総務部会と
は、専門部会設置要綱に基づきセ
ンターの事業運営を、より効率的
に推進する部会として種別し、構
成は、理事8名です。審議する事
項は、総務、財務及び組織、会員の
安全衛生、会員の福利厚生、会員

の入会促進等全8項目に関する課
題で、審議後は理事会に報告しま
す。今期の重点課題は、何といっ
ても入会促進です。理由として、
わが国は労働力人口が減少する中
で、国を挙げ、働く意欲と能力の
ある高齢者が活躍出来る「生涯現
役社会」の構築が進み、センタ
ーの役割がますます期待されてい
るのです。よって、総務委員会とし
ては、いかにPRして資質の高い
会員を獲得するかを研究していま
います。



新役員の皆さん

恒例の「ふれあい広場」が新型コロナウイルスの影響で中止となったことを受け、今年も4月27日～5月2日の間、シルバー人材センター事務所前で野菜苗の販売を行いました。

昨年引き続き大変好評で多くの方にお買い求めいただきました。

野菜苗の販売今年も人気

恒例の「ふれあい広場」が新

型コロナウイルスの影響で中止とな

ったことを受け、今年も4月27

日～5月2日の間、シルバー人材

センター事務所前で野菜苗の販売



野菜苗販売

安全・適正就業 強化月間

これくらい 前はできたと過信せず

〈令和2年度長野県シルバー人材センター連合会最優秀安全標語〉

「任せとけ」慣れた作業に事故潜む

〈令和2年度松本地域シルバー人材センター最優秀安全標語〉

安全第一を会員に徹底



安全委員長
齋藤 篤

1対29対300の法則をご存じでしょうか。1件の重大事故や災害に対し、その裏には29件の軽微な事故、300件のヒヤリハット、数千に及ぶ不安全な状態や行動が潜んでいるといわれています。ですから事故災害を防ぐには、常日頃の作業の中で不安全な環境や作業方法が無いかチェックしながら災害の芽を減らす工夫が必要です。

令和2年度は21件の事故が発生

剪定の技能を学ぶ



しました。一昨年と比較し10件増です。作業開始前、過去のヒヤリハットを共有し、事故を絶対起こさない取り組みをしましょう。

3月30日（火）に、両島

浄化センターで新人剪定講習会が開催されました。

今回、キラキラの新人会員が11名参加し脚立、梯子の正しい使用方法から始まりKYT（危険予知トレーニング）講習後、松、もみじ、レッドロビンの実技講習を、午前9時～午後3時まで受けました。4月からはそれを生かし、

剪定講習会に参加して



村上 昌弘さん
（和田）

秋の剪定講習に参加した。厚く布団をかぶったようなクロマツが講師の先生の指導により一芽ごと剪定した後、見上げると青空が見え、マツが生き生きしていた。

退職後、この剪定作業を人生の

怪我無く生き生きとをモットーに、各班で就業を開始し、剪定班は平均年齢も若返り活気に満ち、皆で力を合わせて、大きな仕事も小さな仕事も一生懸命取り組んでいます。



剪定講習会

生き甲斐として考え、3月の剪定講習会に参加した。

今は、先輩に聞きながら剪定を任されているが、本当にこれを切つて、残して良いのか迷いながらやっている。

答えは秋に、一年後に・・・出てくる。その時に胸を張れるようになりたい。そのためにも、作業を安全にできることが最も大事であることを学んだ。

部会・委員会を 活発に！

事業運営における様々な課題に対して適時適切に対応し、会員の自主的、主体的な運営実現を目指した活動を推進していくため、令和3年度は専門部会や委員会の活動の一層の充実に向けて取り組んでいきます。

部会には、総務部と事業部の2つがあります。総務部会では、会員の拡大、女性会員の活動しやすい環境づくり、事業部

高齢者活躍人材 確保育成事業

高齢者活躍人材確保育成事業は国の委託事業で、一般の高齢者の方などにシルバー人材センター

に対する理解を深めていただく事を目的として

ととも実地していただきます。令和2年度は9月にりんご裁



りんごの葉摘み作業（9月15日）

会では、配分金や適正就業のあり方等についての課題に取り組んでいきます。

他方、専門委員会には安全、会報編集、女性、情報化推進の4つの委員会があり、それぞれの活動を精力的に進めていきます。



安全委員会のパトロール（7月16日）

培体験講習、10月と11月に庭木・庭園管理講習を実施しました。りんご栽培講習ではシルバー運営のりんご園で葉摘み、玉回し作業を、庭木・庭園管理講習では両島の浄化センターやあずさセンターの緑地で様々な種類の樹木の剪定の基礎を学びました。一般の方を中心に合わせて49人が参加し、その内14人が入会しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い昨年度中止としたガーデニングや郷土料理のセミナーを開催し、会員増に繋がりたいと考えています。

衛生委員会だより

令和2年4月から会員の健康管理や安全衛生環境の向上を目的とする衛生委員会が設置されました。これに伴い、産業医には、折井医師をお願いし、安全衛生法に基づいた活動を進めています。

初年度は、新型コロナウイルスの感染拡大への具体的な予防策について協議し、相談コーナーへの

新入会員の声



宮坂 京子さん
(梓川)

「毎日が日曜」の主婦になり、悠々自適な生活を、畑で野菜作りをとお夢見たのも束の間、しばらくすると、一日中畑仕事はできず、午後の時間を持て余すようになりました。友人にも勧められ、3月にシルバーに入会。

4月からは、午後3時間の特養の仕事に就く事が出来ました。老人性膝関節症、すべり症など、足腰も弱つていますが、仕事は月の半分以上なので何とか体を休めながら頑

アクリル板の設置や検温、机・椅子の消毒等の具体的な対策を実施しました。

また、派遣会員を中心に初めてストレッチエクソも実施し、特に問題がないことを確認しました。

今後は会員の健康診断受診を促進していきます。



張っています。

こんなにスムーズに仕事が決まりもう暫くは健康維持の為、社会参加の為、働ける機会を与えていただいたシルバー人材センターの皆様感謝しております。

～新職員の紹介～

- ◎庶務担当 係長 青木 一晟
- ◎業務担当（除草業務等担当） 西牧 和夫
- ◎業務担当（派遣業務等担当） 大月 康司

よろしくお願いいたします。

お知らせ コーナー

メールアドレスを登録

センター事務局では、シルバーのデジタル化の一環として会員の電子メールを収集し、活用を進めています。ぜひアドレスの登録をお願いします。

また、シニアパソコン教室ではスマホ、ズーム等の講習会を開いています。ご興味のある方はお問い合わせください。

連絡先アドレス

Matumoto-108@sjc.ne.jp
TEL 02693-396680

今後の予定

一斉奉仕活動

10月中旬

第13回シルバーまつり

11月12日～13日

地区懇談会

11月下旬

高齢者活躍人材確保育成事業

本年度は「寄せ植え講習」(9月)

「そば打ち講習」(11月)などを予定しています。新規入会のお誘いを兼ね、お友達などにご案内ください。

配分金には消費税が含まれています

派遣を除く請負就業の場合、会員は雇用関係のない「個人事業主」として、当センターから再請負の業務を行った位置付けとなり、会員の配分金には内税として消費税が含まれています。

本来、「個人事業主」には消費税を納める義務がありますが、現

状は令和5年9月30日まで、配分金が年間1000万円を超えない限り免税事業者である会員は消費税を納税する必要がありません。

令和5年10月1日以降は、「インボイス制度」が段階的に導入され、配分金に係る消費税の納税が必要となる可能性があります。具体的な納税方法等につきましては検討段階ですので、内容が明確になった時点でお知らせいたします。

さい。詳細は後日新聞広告等でお知らせします。

(あくまでも予定であり、今後の状況により変更されることがあります)

配分金支払日

6月分	7月15日(木)
7月分	8月16日(月)
8月分	9月15日(水)
9月分	10月15日(金)
10月分	11月15日(月)
11月分	12月15日(水)
12月分	1月17日(月)

お悔やみ
申し上げます

十二月二十九日

山下 光臣 さん (庄内)

一月七日

原田 繁 さん (神林)

一月十二日

三枝 由美 さん (東部)

一月十三日

山田 謙次 さん (梓川倭)

一月二十二日

夏目 和雄 さん (波田東部)

六月十五日

宇梶 勝正 さん (第3地区)

六月二十六日

赤津 厚志 さん (里山辺)

副班長さんが 交代されました

白板地区

森 重樹さん

(前任) 一之瀬 三郎さん

波田中地区

古畑 明利さん

(前任) 村瀬 達郎さん

あとがき

コロナワクチン接種が始まり、すでに2回目の接種を終えられた方もおられることと思います。

ワクチン接種は、感染しても症状が出るのを抑える効果、症状が出て重症にならないようにする効果は期待されています。しかし、感染を防ぐ効果があるかどうかははっきりわかっておらず、症状が現れないため、知らずに感染を広げてしまつ恐れもあります。社会全体にワクチンの効果がしっかりと確認されるまでは今行われている対策を続ける必要があるとされています。

接種を終えても気を緩めることなくこれまでどおりの感染予防に努めましょう。

(公報編集委員長 櫻井)